

青年部活動報告

平成 29 年度は 34 名の青年部員相互にとって、有意義であるために『さらなるネットワークを目指して』をテーマの基に「お互いの強みの理解」を図った。

これは青年部の基本となる委員会活動に重点を置き、お互いの持つ知恵を出し合い、課題に取り組み、ビルメンテナンス業の潮流の変化を乗り越えていこうという主旨である。

昨年の青年部活動は以下の活動方針に則って活動を行なった。

1. 「都市ビル環境の日」への積極的参画
2. 時代に沿ったスキルアップと知識、技術の向上を図り、部員間の強固な絆を深める
3. 全国 BM 青年部との交流による人脈育成
4. 広報活動

各活動報告は以下の通りである。

1. 「都市ビル環境の日」への積極的参画

平成 29 年度は、「都市ビル環境の日」が久留米市での開催となったので、青年部は久留米委員会を中心にステージ設営、来場者案内等を行ない、都市ビル環境の日部会の運営に協力した。

2. 時代に沿ったスキルアップと知識、技術の向上を図り、部員間の強固な絆を深める

平成 29 年度は総務広報委員会、都市ビル環境の日特別委員会、福岡第一委員会、福岡第二委員会、北九州委員会、久留米委員会の 6 委員会で運営した。

1) 総務広報委員会

各種会議の運営、ホームページの運営、会計、予算策定等を行なった。

2) 福岡第一委員会

当委員会は、病院清掃の最新トレンドを賛助会員による情報提供を基に座学を行なった。又、菌清掃のデモンストレーションとして、建物内など数カ所の培地検査を行なうとともに、目に見えない汚れまでしっかり拭き取れているのか、蛍光液を塗布したテーブルにブラックライトを照射しながら『マイクロファイバータオルと綿ふきん』の違いについて実験を行なった。綿ふきんはほとんど拭き取れていないのに対して、マイクロファイバータオルは蛍光液の残りが確認できない程綺麗に拭き取れる事を確認した。

3) 福岡第二委員会

当委員会の活動としては、昨年に引き続きテーマとしては「労働力の確保」を掲げ、主な取り組みとして、今回は「福岡県内の保育事業」についての実態調査を行なった。働き盛りである主婦層をたくさんこの業界に呼び込むには、やはり労働環境をいかに充実させるかということで、まずは保育事業の種類や認可基準、また申請や助成金の活用についてなど今後の材料としてまとめた。

4) 北九州委員会

当委員会の活動としては、昨年 2017 年に落成したばかりの、地元北九州が誇る最新スタジアム「ミクニワールドスタジアム」に視察見学を行ない、国際的にも魅力溢れる建築物に触れ、また、その舞台裏である清掃、芝生管理、エネルギー利用などのビルメンテナンスを学び、トレンドを掴んだ。

5) 久留米委員会

当委員会の活動としては、平成 29 年 7 月の九州北部豪雨(災害)に伴い事業継続計画(BCP)研究テーマとし災害後ビルメンとしての緊急対応策等を委員会内で取り組み、5 月の全体発表会で発表した。又、平成 30 年 2 月 16 日(金)運動不足解消と題して久留米例会でレクレーション(ボーリング大会)を行なった。

3. 全国 BM 青年部との交流による人脈育成

平成 29 年度は、6 月 15 日に大阪ビルメンテナンス協会青年委員会主管の「西日本サミット IN 大阪」が大阪市にて開催され、西日本地区の青年部員との勉強および交流を行なった。次年の青年部西日本サミットは熊本県で開催される。

また平成 29 年度 BM 青年部全国大会が 10 月 12 日に高知県高知市にて開催され、福岡青年部より 10 名、青年部 OB より 4 名、計 14 名が参加し、全国部員たちと共に意見交換をし、交流を図ることが出来た。

次回全国大会開催地は福岡県に決定した。

4. 広報活動

平成 26 年度より外注化した福岡青年部のホームページの充実を図った。

平成 29 年度はホームページデザインを刷新し、各活動カテゴリを分けて表示することにより、見やすくなる工夫を凝らした。

詳細は <http://www.seinenbu.net/> をご覧頂きたい。